



やま で ら ひかり

山寺の光



山形市立山寺小中学校

令和7年11月28日

校長 武田 裕子

学校教育目標：郷土「山寺」を愛し、社会に役立つ人間の育成

生徒会始動＊中学生：生徒会役員選挙・任命式・生徒会引き継ぎ式

今年度、生徒会スローガンとして『新化（しんか）』を掲げ、これまでの伝統を大切にしながら「思いやり」「交流」「貢献」の三つの柱を立て、新たな一歩を踏み出した前期の取組みでした。「ハート宣言」活動では、思いやりあふれる学校を目指し、また「あいさつ Week」では互いの絆を深めて明るい学校づくりに努めました。さらに、小学生や地域を巻き込んだ「アルミ缶回収」など、より良い学校づくりに向けて積極的に取り組んできました。そして、11月13日（木）に行われた生徒会役員選挙の結果を受け、新生徒会長による事務局員委嘱が行われ、後期生徒会組織が下記のように決定しました。「伝統は革新の連続である」と言われます。山寺中のさらなる発展のために、どうすれば良いかをみんなで考えながら「新化」し続け、大いに活躍してくれることを期待しています。



生徒会会長	後藤 康佑さん	生徒会副会長	遠藤優太朗さん
事務局	後藤 柊人さん	事務局	手塚 弦さん

【新生徒会長 後藤康佑さん】

この度、生徒会会長に就任しました後藤康佑です。私は、明るいあいさつがあふれる活気ある山寺中をつくっていきます。あいさつ運動を通して仲間との絆を深め、一人ひとりが楽しく学校生活を送れるようにしていきたいと思います。また、中学生が小学生に勉強を教えるなどの交流を取り入れ、小中のつながりをさらに強めていきます。これまで、3年生のみなさんが先頭に立ち、ボランティア活動などに積極的に取り組んできました。その姿勢を受け継ぎ、生徒会は「皆さん一人ひとりが主役」であることを大切にしていきます。みんなで力を合わせ、自分たちで考えながら、充実した学校生活を築いていきましょう。

【前期生徒会長 後藤璃子さん】

新生徒会会長の康佑さん、副会長の優太朗さんは、選挙に向けて3日間、毎朝昇降口前で明るく挨拶をしながら頑張る姿がとてもしっかりとよかったです。今年の生徒会では、学校をさらに明るくするために「あいさつ運動」を行い、地域に貢献するために「アルミ缶投票ゲーム」に取り組んできました。限られた時間の中で企画するのは大変でしたが、実施後の達成感は大きなものでした。

次は1・2年生が山寺中生徒会を築いていく番です。これまで先輩方が受け継いできた伝統を、後輩たちにもしっかりと伝えていってください。これからのみなさんの活躍を心から期待しています。

11/21（金）小学5,6年生：仙台で山寺観光PR

11月21日（金）、山寺を仙台でPRするため、サンモール一番町商店街にてパンフレットを配布しました。昨年作成したパンフレットをさらに良いものにしようと、動画撮影・編集にも挑戦し、QRコードから山寺の見どころを映像でご覧いただけるようにしました。仙台では50人以上の方にパンフレットをお渡しすることができました。多くの方々のご協力をいただきながら、貴重な経験を通して大きな学びを得ることができました。



仙台の方から温かいメッセージが届きました♪



私は垂水遺跡に行った事がなく、このパンフレットを見て是非訪れてみたいと思いました！みんな一生懸命作ったんだなと伝わってくる素晴らしいパンフレットだと思いました。是非いろんな方に山寺の良さを伝えて欲しいと思いました！素敵なパンフレットありがとうございました！

寒い中、仙台の地でパンフレットを配っている子たちの姿を見て、行ってみたくくなりました。葛アイスがとても気になります。とても良い取り組みだと思いました。

生徒さん達が一生懸命地元の観光をアピールしている姿に感銘を受けました。是非また仙山線に乗って行ってみますね。ありがとうございました。

60年前、小学六年生の時、仙台から仙山線に乗り山寺にいったのが最初です。お土産屋さんが並んで、玉こんにゃくを食べたことをおもいだしました。あの時、長い階段を上り、厳しい山道をクネクネ頑張っていることを、おもいだしました。五大堂から眼下に見える里、途中に見えた円仁さまが修行をした岩窟、子どもながらにこんな山奥にこんなスゴイ場所があるんだ!!と驚きました。大人になり二回ほど行きましたが、そのたびに山深いこの地にほっくりと、先人が拓いた重厚な世界がある不思議さに魅力を感じます。また是非訪ねたいと思いました。山寺小学校の皆さん、ありがとー🌻💖💧故郷を大切に。

本日は勇気を持ってのお声掛けありがとうございます。手作りのしおりやら会話がとても嬉しい体験になりました。山寺にこんなに観光名所があるとは驚きでした。行ったことがあるとは言え、40年位前と50年前の小学校の遠足でした。パンフレットは形状も持ち歩きやすく、手書きもあり、ルートマップの番号も親切で良いですね。QRコードですべての動画をテレビに投影して観させていただきました。臨場感が出て必ず山寺未経験の夫、岩手出身を連れ行きたいと思いました。ありがとうございました。

山寺は知っていましたが、垂水遺跡は知りませんでした。高齢者なので足腰が大丈夫なうちに訪れたいと思います。どのような場所か写真でもわかりますが、動画だとよりわかりやすくて良いです。訪れる時には、皆さんが一生懸命作って手渡してくださったこのパンフレットを持って行こうと思います。

11/4（火）・11/11（火）小中学生：人権の花



「人権の花運動」は、全国の人権擁護委員が中心となり、各学校に花の種子や球根、プランターなどを配布し、児童生徒が協力して草花を育てることで生命の尊さを実感し、豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得することを目的としています。



11月4日（火）、山形人権擁護委員協議会様より中学生を対象に、人権についての講話と花の苗を贈呈していただきました。講話を通して、一人ひとりの個性や多様性を理解し、互いに協力し合うこと、地域の方々をはじめ周囲への感謝の大切さを学びました。また、技能技師の齋藤充裕先生のご指導をいただきながら、プランターへの苗の植え付けを行いました。

さらに、11月11日（火）には、山寺駅、駐在所、サニーヒル山寺、郵便局、山寺芭蕉記念館、遠藤物産の6か所にプランターを寄贈しました。山寺小中学校の児童生徒全員で、思いやりの花を咲かせていくことを誓いました。

R7.11.16(日)山形新聞掲載



プランターを手渡す児童生徒たち
＝山形市・JR山寺駅前

山形 山形市山寺小中学校の児童生徒が11日、「人権の花」運動の一環で、パンジーを植栽したプランター3個をJR山寺駅前に飾った。花を育てて感謝の気持ちを育む人権の花運動に賛同し初めて実施。小学5、6年生11人と中学3年生6人が同駅を訪れ、JR東日本山形統括センターの五十嵐幸平副所長らにプランターと手書きのメッセージカードを手渡した。

五十嵐副所長は「山寺は多くの外国人が訪れる。おもてなしをしたい」と述べ、山寺中3年佐々木優さん（15）は「利用者が明るい気持ちになつてほしい」と語った。（柳沢明子）



10/31（金）小学生：本の読み聞かせ

10月31日（金）、第4回読み聞かせは、保護者の齋藤恒亮様、佐々木彩寧様、石川藍様よりご協力いただきました。子どもたちは目を輝かせながら物語の世界に引き込まれ、豊かな感性と想像力を育む貴重な時間となりました。



11/14（金）小中学生：スクールコンサート（学習参観）

山形県教職員互助会主催によるスクールコンサートを開催しました。「トリオ・アラモーレ」様をお招きし、歌・ピアノ・チェロによるアンサンブルを披露していただきました。クイズで盛り上がりながら、美しい音楽と楽器の響きを楽しむことができました。童謡やクラシック、アニメソングなど幅広いジャンルの曲を、オリジナルの編曲で演奏していただき、心豊かなひとときを過ごすことができました。

